

イベント名： 呼和浩特市中学生受入れ

寄稿者：

題名： フフホトから来た「大きいお兄ちゃん」

トニイ君に初めて会った時驚いたのは、「礼儀正しさ」、「英語の流暢さ」そして「積極性」です。彼はその「積極性」で一瞬にして家族に溶け込み、この週末、我が家は4兄弟がいるようでした。宿題を見てもらい、手をつないで歩いた長男。一緒にサッカーを楽しんだ次男、生憎体調を崩して遊ぶ事はできなかったけれど、抱っこしてもらったり背中をさすってもらった三男。言葉の壁など一切気にせず笑い合う大きいお兄ちゃんと我が家の3兄弟はとてもほほえましく、国際交流とは結局のところ「人と人」なんだなと再認識させられました。

また、私達親にとって彼の故郷フフホトの話は大変興味深く、冬は-20℃近くにもなる事や英語教育が盛んな事、交通事情など初めて聞く話にワクワクし、一方では何かと共通点の多い私達^④の文化にお互い親近感を抱きました。朝、犬の散歩に出て道端に水仙が咲いてい

水仙の
中国語読み
だそうです。

るのを見つけた時、^④「あ、スイセン」^⑤「あ、シュエイ シイエン」と声がハモった時には思わず顔を見合わせ大笑いしました。

このように私達家族にとってトニイ君と過ごした時間はとてもエキサイティングで素敵な思い出になりました。
トニイ君、本当にありがとう。

※感想文・写真は、当協会の機関誌、ホームページに掲載させていただく場合があります。

写真の掲載について御希望がある場合は、以下にチェックをお願いします。

掲載しても構わない。 掲載しないでほしい。

